

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
解剖生理学Ⅲ	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	竹内 法子

授 業 概 要

人体の基本的な構造および生体の機能や仕組みの要因や現象など、いわゆる生命現象を知る科目である。器官を系統に分けて、その構造形態と生体機能、恒常性の維持に関する内容を解説する。マクロ・ミクロの両面からアプローチして解説する。

緻密で精妙な生体構造と機能の基本的な特性、病態との関連性についても解説する。
生理機能検査学をはじめ、発展的内容を含む科目の基礎となる知識を修得する。

到 達 目 標

- ・脳や脊髄、末梢神経など神経系の構造と形態について、その特徴を理解し模式図を用いて説明できる。
- ・細胞への刺激と興奮発生、伝導について理解し説明できる。
- ・神経組織の機能と特性、筋組織への伝達について理解し説明できる。
- ・末梢神経系、中枢神経系を機能的に理解し説明できる。

回	学 習 内 容	担当教員
1	神経系の概要：刺激と興奮、興奮の発生と機序	竹内 法子
2	：ニューロン、神経の変性と再生	
3	：神経の種類、興奮伝導と伝導速度	
4	：跳躍伝導、物質代謝、シナプス	
5	：ニューロン回路、神経筋接合部	
6	中枢神経系：脳脊髄膜、脳脊髄液、脳室	
7	：反射、脊髄	
8	：間脳、脳幹	
9	：小脳、大脳基底核、大脳辺縁系	
10	：大脳新皮質	
11	：覚醒と睡眠、学習と記憶	
12	末梢神経系：解剖学的分類①(脳神経)	
13	：解剖学的分類②(脊髄神経)	
14	：生理学的分類①(体性神経)	
15	：生理学的分類②(自律神経)	

学 習 方 法

- ・教科書及び参考書を基本に配付資料も加えて授業を行う。
- ・配付資料は内容を理解して授業及び自習に活用する。
- ・各回実施の講義内容を十分に復習し、理解を深めること。

評 価 方 法

- ・第2回講義以降、前回までの講義内容に関する小テストを隔回で行う。
- ・定期試験(70%)及び小テスト(30%)により総合評価する。
- ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。
- ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。

先 修 科 目

教科書、参考書

〔教科書〕

人体の構造と機能 第5版	内田さえ、佐伯由香、原田玲子	医歯薬出版株式会社
ぜんぶわかる人体解剖図	坂井建雄、橋本尚詞	成美堂出版
標準臨床検査学 基礎医学 人体の構造と機能	岩谷良則	医学書院

〔参考書〕

最新臨床検査学講座 解剖学	秋田恵一、星治	医歯薬出版株式会社
最新臨床検査学講座 生理学	奈良信雄、和田隆志	医歯薬出版株式会社
配付資料		